

ついに姿を現した

ネットスケープ コミュニケーター Netscape Communicator 4.0b1

4.0

スタンダード 1

昨年12月20日、ついにウィンドウズ95/NT版のネットスケープコミュニケーター4.0スタンダード1が発表された。コミュニケーターというのは単体のソフトではなく、WWWブラウザのナビゲーター4.0、電子メールソフトのメッセンジャー、グループディスカッションツールのコラボラ、HTMLエディターのコンポーザー、電子会議ツールのコンファレンスという5つのコンポーネントから成る(同プロフェッショナルは、これにカレンダーというスケジューラーが加わる。未発表)。インターネットユーザーの注目を集めているこのソフトの新機能を、それぞれのコンポーネントごとに紹介しよう。

待望の新機能を見る

入手先: http://home.netscape.com/comprod/mirror/client_download.html ファイルサイズ: 約9Mバイト



デザインとインターフェイスを一新した
ネットスケープナビゲーター4.0[ブラウザ]

ブラウザと
してマイクロ
フトエクスプロ
ーラと人気を二



↑ 3.0から大きくデザインが変
わったネットスケープナビゲ
ーター4.0。

分しているネットスケープナビゲ
ーターは、3.0から4.0へとパー
ジョンがアップした。しかし、製品
版でサポートすることが発表され
ており、期待されていたスタイル
シートと複数ユーザーのプロフィ
ール設定は、今回のバージョンで
は実現していなかったのが残念だ。

さて、4.0を起動するとまず目
につくのがデザインの変更だ。ボ
タン類がそっけなかった3.0に比
べ、4.0ではツールバー上のボタン

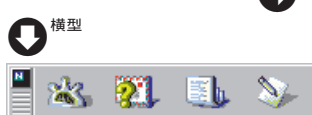
類が落ち着きを持ちながらもカラ
フルになった。同時にボタンの並
びやメニューなど、インターフェ
イスも若干変更されている。3.0
ではメニューバーのオプションか
ら選択しなければならなかったツ
ールバーのサイズの変更が、パー
左にある下向きの矢印のようなタ
グをクリックするだけでできるよう
になったのはうれしい。

「What's New」と「What's
Cool?」の2つが並ぶカスタムツ
ールバーは3.0のディレクトリボタン

Floating?? Task Bar

NEW 自由度の高いタスクバー

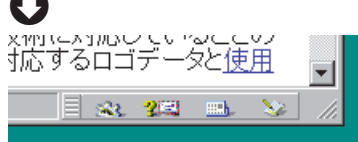
フローティング



縦型

固定

ブラウザ右下

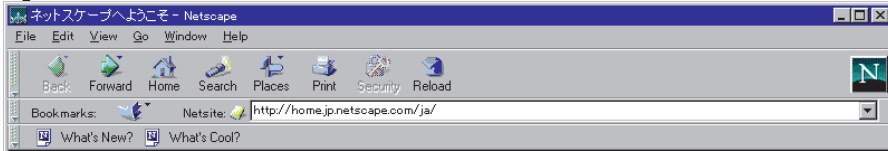


タスクバーを使うことにより、各コ
ンポーネントを簡単に呼び出すこ
とができる。表示形式はここに挙
げた3パターンに変更可能だ。

Floating?? Task Bar

NEW ワンボタンでツールバーのサイズ変更が可能

ツールバーのサイズ変更は、4.0ではクリック1つでできる。予期せず大きな画像のあるページにアクセスしてしまったときなどに便利だ。また、メニューの「View」からなら、ツールバーを完全に隠す設定もできる。



↑ デフォルトのツールバー表示。どの機能も簡単に使える反面、ページを表示する領域が若干狭くなってしまふ。



← サイズの変更はツールバーの左端、この矢印のようなタグ部分で行ふ。

→ ツールバーを最小にするとページ表示領域がかなり大きくなる。

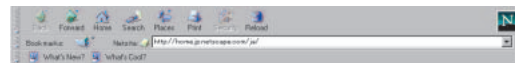


Bookmark & Toolbar

に相当するのだが、これはその名のとおりカスタマイズできる。空いたスペースにユーザー自身のブックマークを複数配したり(階層構造も可)前記の2つを外したり、すべてをオリジナルにすることも可能だ。

ロケーションバー上の機能では、URL表示ウィンドウで「find」と入力することでサーチエンジンに飛ばずに、入力した単語を直接検索することができるようになった。また、「Netsite」マークをドラッグ&ドロップすることで表示されているページへのショートカットを、たとえ

NEW ブックマークをツールバーに登録できる



↑ デフォルトでは2つが表示されている。



↑ 好みのブックマークを登録・表示してみた。

カスタムツールバーにはブックマークを登録・表示できる。デフォルトの2つの右に並べるのはもちろん、その2つを消してまったくのオリジナルのバーにすることもできる。ブックマークのフォルダーを登録すれば、ツリー上の階層構造にすることも可能だ。

ばデスクトップ上にコピーすることができる。

デフォルトでブラウザ右下にあるタスクバーは、コミュニケーターの各コンポーネントを呼び出すためのもの。これもクリックするだけでフローティングにしたり固定位置に戻したり、縦型や横

型表示、常に前面に出すかどうかなど、好みに合わせて変更することができる。このバーによって、ほかの各コンポーネントをシームレス感覚で使えるわけだ。

デザイン、インターフェイス面以外では、レイヤー機能をサポートしたことが新しい。これは文字

や画像などをページ内のどこにでも、しかも階層状にも配置できるという機能。これにより、これまででないデザインやアニメーションが可能となる。その例は、下記のURLにアクセスして確かめてほしい(この場合、もちろんナビゲーター4.0が必要だが)。

Layer & Animation

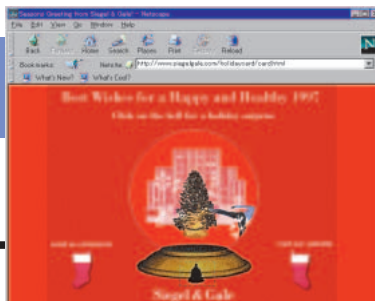
NEW レイヤー機能によるアニメーション

URL <http://www.siegelgale.com/holidaycard/card.html>



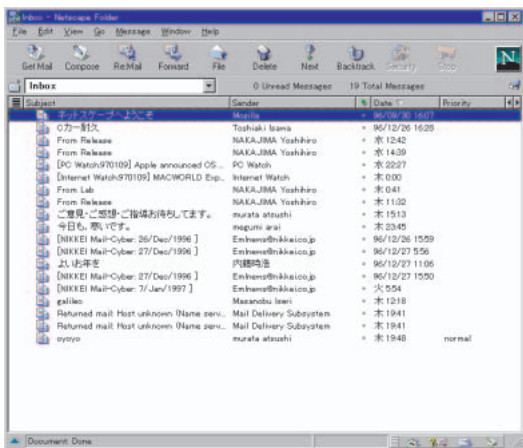
↑ 大きな雪の結晶がスケーターより手前に見える。「雪のあるレイヤー」の階層が浅い(手前側)わけだ。

→ ちょっと季節が遅れてしまったが、スケーターが回る楽しいデモ。ちょっと細かい部分だが左右の写真を見比べてほしい。



↑ スケーターの腕の後ろに小さな雪の結晶が隠れて見える。こちらは「雪のあるレイヤー」の階層が深い(奥側)のだ。

強力なフィルター機能を装備した ネットスケープメッセンジャー[電子メールソフト]



↑ ナビゲーターと同様のデザインのボタンが並ぶメッセンジャー。

ナビゲーター3.0にも電子メール機能は付いていたが、ほかの市販電子メールソフトなどと比べて、機能的に見劣りするものだった。ところがコミュニケーターになって、電子メール機能は大幅にパワーアップした。

まず最初に、強力なフィルタ

ー機能を説明しよう。フィルター機能とは、届いた電子メールを一定の条件によって指定された場所（フォルダー）に選り分ける機能をいう。ある単語がサブジェクトや差出人、本文などの中にあるかないか、またその単語で始まるものだけ、終わるものだけといったさまざまな条件で選別するわけだ。1日に何十通ものメールを受ける人には、メッセンジャーのこのフィルター機能はありがたい。

受信済みの電子メールのサーチ機能も充実している。こちらはメッセンジャーのすべてのフォルダーを対象に、複数の条件を設定して検索することが可能だ。電子メールが溜まってしまうと、必要なものを探し出すのも一苦労だが、メッセンジャーなら簡単だ。

3.0に比べて、アドレスブックも強化され、名前と電子メールアドレス以外に、いくつかの個人情報登録することができるようになった。また、このアドレスブックは後述するネットスケープコンファレンスと共用のものだ。

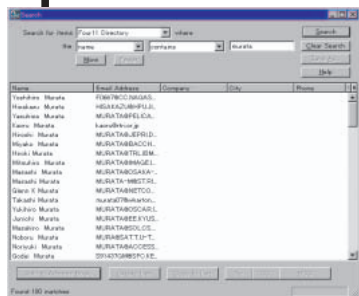
さらにメッセンジャーでは、LDAPというプロトコルをサポートしている「Four11」と「Bigfoot」というインターネット上の2つのディレクトリーサービスを、ブラウザを通すことなく、まるでメッセンジャーの一部であるかのように利用できる。これはいわゆる電話帳検索サービスで、メニューの「Search Phone Book」を選択して名前を入力すると電子メールアドレスを、アドレスを入力すると名前を検索してくれるもの。ビジネスの相手に電子メールを送りたいがそのアドレスが分からない、というときなどに使用する。さらに、インターネット上で同様のディレクトリーサ

Search

NEW

インターネットで 電子メールアドレス を検索

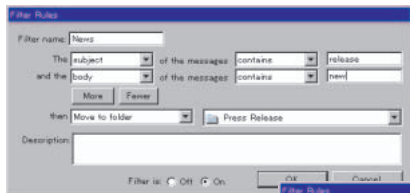
メニューの「Edit」から「Search Phone Book」を選ぶと、インターネット上のディレクトリーサービスで、名前から電子メールアドレスを、逆に電子メールアドレスから名前を検索することなどができる。サーチ機能付きのインターネット上の電話帳だ。



↑ インターネット上で検索してみたところ。

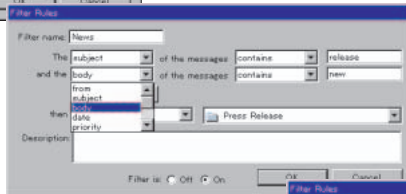
Filter

NEW 強力なフィルター機能

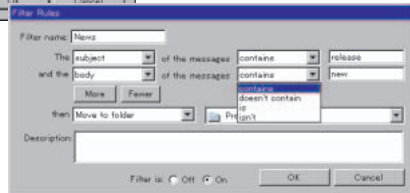


↑ フィルタリングの条件は1つだけではなく、このように複数設定することもできる。

届いた電子メールを、ユーザーが設定した条件によって選り分けるフィルター機能。メッセンジャーのフィルター機能は強力なので、1日に何十通ものメールを受け取る人は一度試してほしい。



↑ 差出人やサブジェクト、本文など、メールのどの部分から抽出するかの設定画面。



↑ 設定した単語・文字を含むか含まないか、文頭か文末かなどを設定できる。

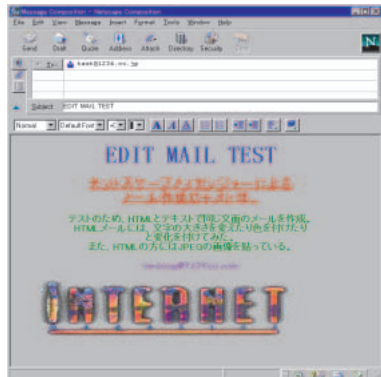
HTML mail

ービスを見つけた場合には、それがLDAPをサポートしているものなら、ユーザー自身のPhone Bookに登録し、上記の2つと同じように使用することができる。

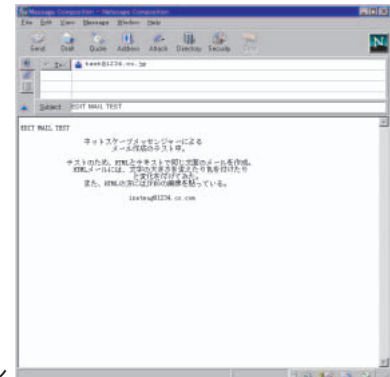
さて、最後になったが、従来のテキストに加えてHTMLのメールの作成と送受信ができるようになったことも、メッセージャーのセールスポイントの1つだ。

HTMLメールの作成は、あて先、サブジェクト、文面を書くところはテキストのメールと同じだ。その後(文面を書きながらでも)書体や色、位置などをメニューやボタンから指定する。画像やリンクは、ほかのフォルダーやアクセス中のホームページからドラッグ&ドロップで配置するだけの手軽さだ。こうして作ったHTMLメールは、メーリングリストから配信することにより、ただの電子メ

NEW HTMLメールの送受信ができる



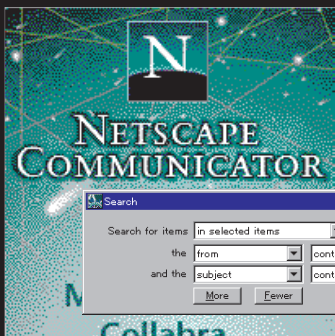
HTMLメール



テキストメール

ッセージャーの特徴の1つ、HTMLメールの送受信機能。ほかのフォルダーやホームページ上からドラッグ&ドロップで画像データやリンクなどを貼り付けられ、またさまざまなフォーマットもマウスだけで選択できるので、ユーザーは特別な知識を必要とせず、テキストのメールを書く感覚でHTMLメールが作成できる。ただし、編集部で試したところ、JPEGファイルは受信後に正常に表示できたが、GIFファイルは表示できず、またBMPファイルは作成時に貼り付けられなかった。

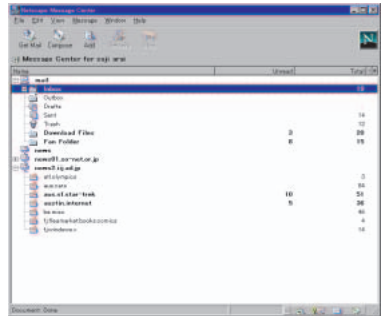
ールからデジタルパブリッシングとなる可能性がある。個人ユーザーがHTMLメールを受けられるようになれば、現在のテキストの商用ニュースサービスは、表現力豊かなHTMLでの配信に変わるかもしれない。



NEW ネットワーク対応の検索機能

メッセージャー同様のサーチウィンドウだが、コラボラではユーザーのメールフォルダー内だけではなく、ネットワーク上のニュースグループ内、インターネットやイントラネット上に設置された会議室(フォーラム)内まで検索できる。

分かりやすく効率的な情報の共有を実現 ネットスケープコラボラ[ディスカッションツール]



メールやニュースなどのフォルダーを集中管理するコラボラ。

ネットスケープコラボラはグループディスカッション用のソフトだ。コラボラでは、インターネット上やイントラネット上に作られた目的やカテゴリ別の会議用のフォーラムで、各フォーラムごとに会議や討論をしたり伝言板のように情報を共有したりすることができる。これが既存のニュースグループと

異なるのは、フォーラムに分かりやすい名前を付けられること、すべての情報をHTMLで記述できることだ。こうすることによって、初めてそこに入る人でも、情報の流れを追いやすいというメリットがある。しかも、メッセージャーと同じサーチ機能を持っており、ユーザーが登録したすべてのフォーラムにまたがる複数条件の検索ができる点も見逃せない。また、

現在のバージョンでは実現していないが、ネットスケープ社の発表では製品版ではメッセージャーと同様のフィルター機能を備えることになるようだ。ただし、上記のような会議や情報の共有の必要がない個人のダイアルアップユーザーにとっては、コラボラはニュースリーダーとしての意味しかないかもしれない。

簡単にHTMLを作成できる ネットスケープコンポーザー[HTMLエディター]

ネットスケープコンポーザーはHTMLエディターなのだが、ほかのHTMLエディターと比べて突出して高機能ではない。では何が優れているのだろう。それをこれから説明する。

コンポーザーの特徴は、エディター自体にあるのではなく、

コミュニケーターとして統合された環境にある。このソフトではテンプレートやウィザードを使って比較的簡単にホームページを作成することができるのだが、その際ナビゲーターが呼び出される(自動的に起動する)。逆に自分のホームページの手直し

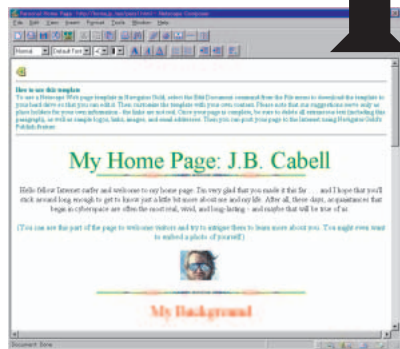
や更新をしたいときは、ナビゲーターでアクセスしてメニューの「Edit Page」をクリックすれば、今度は同様にコンポーザーが呼び出される。さらに作成・セーブしたホームページは、そのままサーバーにアップロードすることができる。従来ならそれぞれの

作業のたびに別のアプリケーションを立ち上げるわけだが、コンポーザーもほかのコンポーネント同様コミュニケーターに統合されているため、インターフェイスや操作性などの違いを意識することなく作業に集中できるというわけだ。この統合された環境こそ、コンポーザーの、そしてコミュニケーターの特徴であり基本なのだ。

HTML Editor

NEW 初心者にとって親切な3つのエディット機能

1 テンプレートでホームページ作成

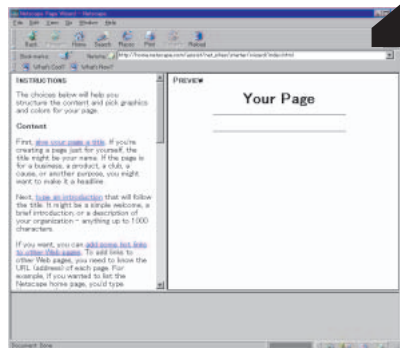


↑ メニューの「From Template」で、インターネット上のホームページサンプル集からコンポーザー上にサンプルをセーブしたところ。

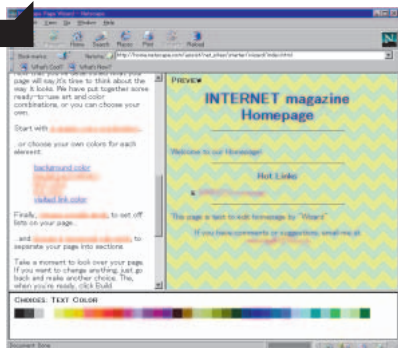


↑ セーブしたものの一部をエディットしてみたところ。元の文字の色や書体などのスタイルがそのまま生かされている。

2 ウィザードでホームページ作成

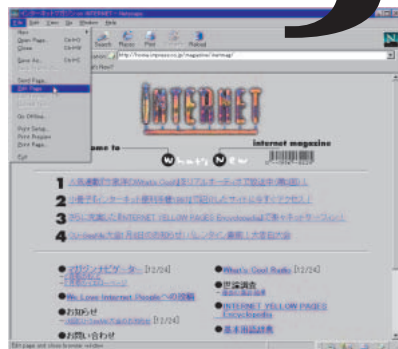


↑ メニューの「From Wizard」で、インターネット上にあるウィザードの最初のページにアクセスしたところ。これが雛型となる。



↑ いくつかのステップを踏み、ページらしきものになってきた。ウィザードで作成したものをセーブすればさらにエディットできる。

3 自分のホームページを再編集



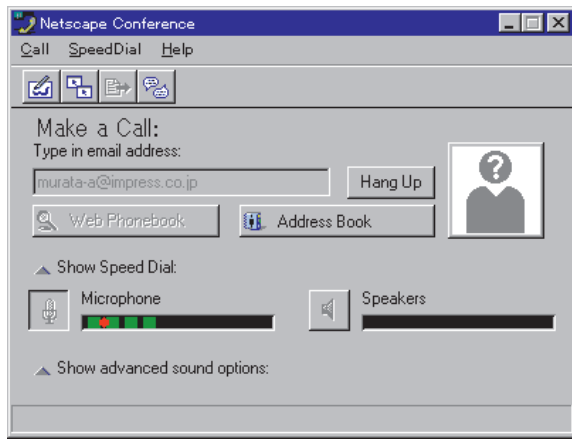
↑ 一度アップした自分のホームページを手直し(再編集)したいときには、ナビゲーターのメニューから「Edit Page」を選ぶ。



↑ するとコンポーザーに切り替わり、そのページがそのまま表示されるので、それをもとにエディットすることができる。

Chat

リアルタイムコミュニケーションをサポートする ネットスケープコンファレンス[電子会議ツール]



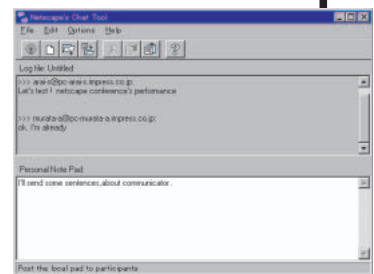
この画面からカンファレンスのさまざまな機能呼び出す。

最後に紹介するネットスケープコンファレンスは電子会議ツールで、H323というビデオ会議ツール用の規格をサポートしている。そのためコンファレンス同士でなくても、同規格をサポートするエンハンスドCU-SeeMeやインテルビデオフォンなども

相互に通信できるのだ(コンファレンスはビデオカメラをサポートしていないので、ビデオフォンやCU-SeeMeとの通信は音声だけになる)。前述したコラボラが設置型の情報共有のためのツールだとすると、こちらはリアルタイムの情

報伝達するツールだと言える。音声での会話以外にも、ホワイトボードとチャットの2つの機能を併せ持っている。ネットスケープ社の発表ではボイスメール機能も備わるようだが、今回のベータ版では使用できなかったのが惜しいところだ。

NEW チャット

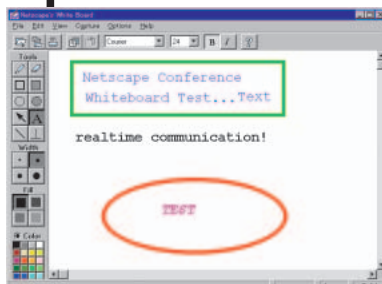


パソコン通信でおなじみのチャットの画面。



White Board

NEW ホワイトボード

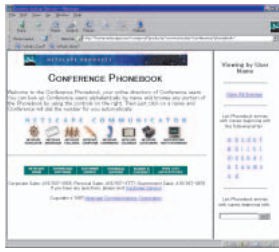


文字、フリーハンド描画、画像の貼り付けなど、さまざまな用途に活用できるホワイトボード。

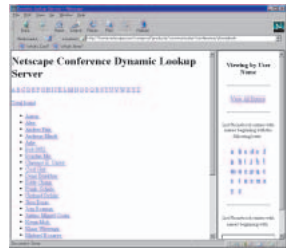
Web Phonebook

NEW サーバー上にいる相手を探すWeb Phonebook

「Web Phonebook」ボタンをクリックするとナビゲーターを呼び出して、このページにアクセスする。



この時点でサーバー上にいるユーザーを表示させてみたところ。名前をクリックするだけで、相手呼び出すことができる。



製品版では.....

6ページにわたってコミュニケーションの特長的な機能を紹介してきたが、冒頭に書いたように、ここで紹介したのはまだマニュアル部分のヘルプさえ整って

ない1版だ。製品版のコミュニケーションでは、ナビゲーターにはスタイルシートや複数のユーザープロフィールのサポート、コンファレンスにはボイスメールなどまだまだ多くの機能が盛り込ま

れることが発表されている。今回、ベータ版を試用しただけでも、インターネットツールが統合された環境の使い勝手のよさが体験できた。できるだけ早期の製品版のリリースを望みたい。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp